

教区教化体制策定委員会 新教化体制のご提案について

「つながる」教区の教化体制を目指して！

全国30教区初！
3教化機関の
住み分けと連携

教区教化体制策定委員長
山口知丈



2017 年 1 月 1 日

A3
A4 一枚で伝える
大阪教区教化体制策定委員会発行

策定ホットライン

第 7 号

新教化体制の
ご提案



2014年3月3日に提出され
た「答申」や、教区の声を受け、
2017年度から始めようとする
、大阪教区の新たな教化体制に
つきまして、あらましを紹介い
たします。

特徴その① 情報の共有

〈つながる〉

皆さんの「組のニーズ・課題が、
新設の「組教化推進部」の「聞き
取り」を通して「教区教化委員会」
に伝えられる体制がスタートしま
す。また、「組」や「寺」といった「現
場」の状況や工夫、門徒さんの声
を、互いに聞き合い、話し合う場
「ブロック別協議会」が設けられ、
教化の現場が「情報交換」によっ
て「つながり」ます。

特徴その② 課題の共有

〈出向く教化〉

これまでも同朋唱和講習会等を
通して各組に出向いていた教化委
員会がさらに、様々な社会問題・
人権問題に取り組んでいる「実行

委員会」が「組」の研修会などに「出
向き」、課題や取り組みの様子の紹
介などを通して聞き合い、学び合
う「場」が新たに誕生します。

特徴その③ 場の共有

〈教化3単位の「住み分け」と「連携」

「教区教化体制全般の見直しと
スリム化」という課題を受けて

・「場」を活かした「一般社会に
開かれた教化」としての「別院
教化」

・「組・寺院・門徒」という現場
のサポートという新たな方向性
を持つ教化委員会の「出向く教
化」

・「教育・研究」による「これか
らの人の育成」を主眼とする「教
化センター」の教化

として、これまで必ずしも明瞭
でなかった、教化3単位の方向
性を「住み分け」します。また、「住
み分け」によるマイナスポイントし
ての「連携の欠如」を補うために、
現場の実務者を交えた「教化検

討会議」を新設致します。

◇

以上、3点の大きな特徴をご紹
介させて頂きました。策定委員会
では、教区の皆さんのお声を大切
にしながら、大阪教区全体が「ひ
とつの教化の共同体」となること
を願いとして、「答申」の具体化
を進めて参りました。明年2月の
「教区会臨時会・教区門徒会臨時
会」を経て、教区の皆様にお届け
させていただきます。本紙面2ページ・3ページに「新
教化体制図」を、また4ページに
は「策定の歩み」を掲載させてい
ただきました。ぜひ、ご覧ください
ませ。

すばやく
つながる！
寺～組～教区



教区教化体制策定委員会のあゆみ

策定委員会前段階

2013年 7月10日

7月26日

2014年 3月3日

3月24日

5月1日

策定委員会設置後

5月2日

5月19日

5月28日

6月18日

6月30日

7月24日

7月28日

7月30日

8月4日

9月9日

9月10日

10月3日

10月17日

10月29日

11月4日

11月21日

12月～1月

12月1日

12月9日

12月17日

12月24日

12月26日

2015年 1月10日

1月15日

2月10日

2月16日

2月18日

3月9日

3月26日

6月1日

6月12日

7月7日

7月28日

8月21日

8月27日

9月9日

9月24日

9月28日

10月7日

10月13日

10月22日

11月～1月

2月～3月

4月11日

6月1日

6月16日

7月19日

7月21-22日

8月

9月

9月23日

9月30日

10月7日

10月17日

11月4日

11月17日

12月5日

「大阪教区教化体制見直しのための企画部会作業担当者会議」設置

「大阪教区教化体制見直しのための審議会」設置

「大阪教区教化体制見直しのための審議会」答申について（審議報告書）提出

「教区教化体制策定委員会」の設置が教区会にて承認される

「教区教化体制策定委員会」設置

第1回会議／委員紹介・趣旨説明・委員長互選・審議の進め方について

第2回会議／答申内容を読み込み・A4用紙1枚程度にまとめて発信する方向

第3回会議／広報手段として策定ホットライン（以下HL）を検討

第4回会議／正副議長がオブザーバーで参加・HL準備号に向けて答申書の要点をまとめる

第5回会議／HL準備号から1号に向けての内容検討→7/1 HL準備号発行

第6回会議／答申書のさらなる読み込みと新案に向けての検討→8/1 HL1号発行

第7回会議／教化センター有識者との懇談会

正副議長会にて中間報告

第8回会議／教化センター有識者懇談会で得られた情報について話し合い→9/1 HL2号発行

第9回会議／青少年4団体代表者との懇談会→10/1 HL3号発行

第10回会議／原案に依存しない社会の実現を目指す委員会との懇談会→11/1 HL4号発行

公聴会開催

第11回会議／新教化体制の内容検討（組教化推進部の設置について）

第12回会議／組教化委員長会の持ち方についての事前打ち合わせ

組教化委員長会（各組巡回への希望が寄せられる）

第14回会議／各組巡回に提示するべく新案の図案について詳細検討

委員による各組巡回（組教化委員長会の意見を受けて）全23ヶ組

第15回会議／各組巡回機材資料及び伝達内容の検討

第18回会議／委員による自主会議（新体制の詳細案を検討・特に実行委員について）

第19回会議／各組巡回の中間報告と得られた意見の検討1

第20回会議／各組巡回の中間報告と得られた意見の検討2

第21回会議／各組巡回中間報告・青少年4団体との再懇談検討

第22回会議／正副議長がオブザーバーで参加・新体制の任期について検討

第23回会議／組人権推進要員や同朋の会教導との連携について検討

第24回会議／教化センターとの連携の必要性・真宗学院の方向性について議論

第25回会議／青少年4団体との懇談2回目

第26回会議／HL5号内容検討（今後の方向性について）→3/1 HL5号発行

議員懇談会で素案提出（3.9議員懇談会（原案では不十分との意見をいただく）

第27回会議／3.9議員懇談会を受けて策定委員会の今後の持ち方について検討

第28回会議／3.9議員懇談会を受けて全体検討の概略とスケジュール検討

第29回会議／3.9議員懇談会を受けた今後の検討課題抽出

第30回会議／抽出された検討課題を順に協議（充て職という課題について）

第31回会議／抽出された検討課題を順に協議（全体構想の再検討）→8/1 HL6号発行

第32回会議／抽出された検討課題を順に協議（真宗学院について）

第33回会議／抽出された検討課題を順に協議（7/28三者住み分け論）

第34回会議／抽出された検討課題を順に協議（教化体制のスリム化）

第35回会議／正副議長がオブザーバーで参加・教化体制のスリム化などについて懇談

第36回会議／所長巡回で寄せられた意見確認・今後のスケジュール公開時期検討

第37回会議／ワークショップの手法を用いて実行委員会との意見交換ができないか検討

第38回会議／ワークショップを断念・今後の実行委員会があるべき姿について検討

第39回会議／難波別院、教化センター職員、研修・講座部員と教化単位住み分け論案について懇談

事務局にてこれまでの案の整理と現場担当者への聞き取りを通じた「住み分け論基礎案」作成

委員長・副委員長・企画部長で「住み分け論基礎案」をさらに検討・調整

第40回会議／事務局・委員長による「住み分け論基礎案」を叩き台として検討1

第41回会議／事務局・委員長による「住み分け論基礎案」を叩き台として検討2

第42回会議／事務局・委員長による「住み分け論基礎案」を叩き台として検討3→原案化

第43回会議／「住み分け論原案」と3.9議員懇談会意見との整合性を確認・教区会報告内容検討

教区会通常会・教区門徒会通常会にて委員長より報告

委員長並びに議長との懇談・「住み分け論原案」についての意見聴取

「住み分け論原案」に基づく「新規則案」検討開始（事務レベル）

第44回会議／教区会で寄せられた意見と原案との内容について検討

教化委員会総会にて報告・懇談

第45回会議／教化センター運営委員会との懇談会

第46回会議／「新規則案」について検討1

第47回会議／「新規則案」について検討2

第48回会議／HL7号についての検討→12/25 HL7号発行（本号）

準備号



答申書の要点について

ホットラインで
伝えてきました

第1号



これからの教化のあり方

第2号



教化センター有識者との懇談

第3号



青少年4団体代表者との懇談
原案に添えない姿を自覚委員懇談

第4号



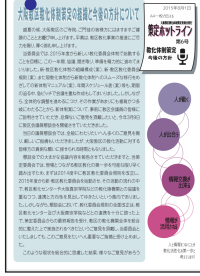
公聴会の報告

第5号



各組聞き取りのご報告

第6号



策定委員会の指針と今後の方針

お待たせ
いたしました

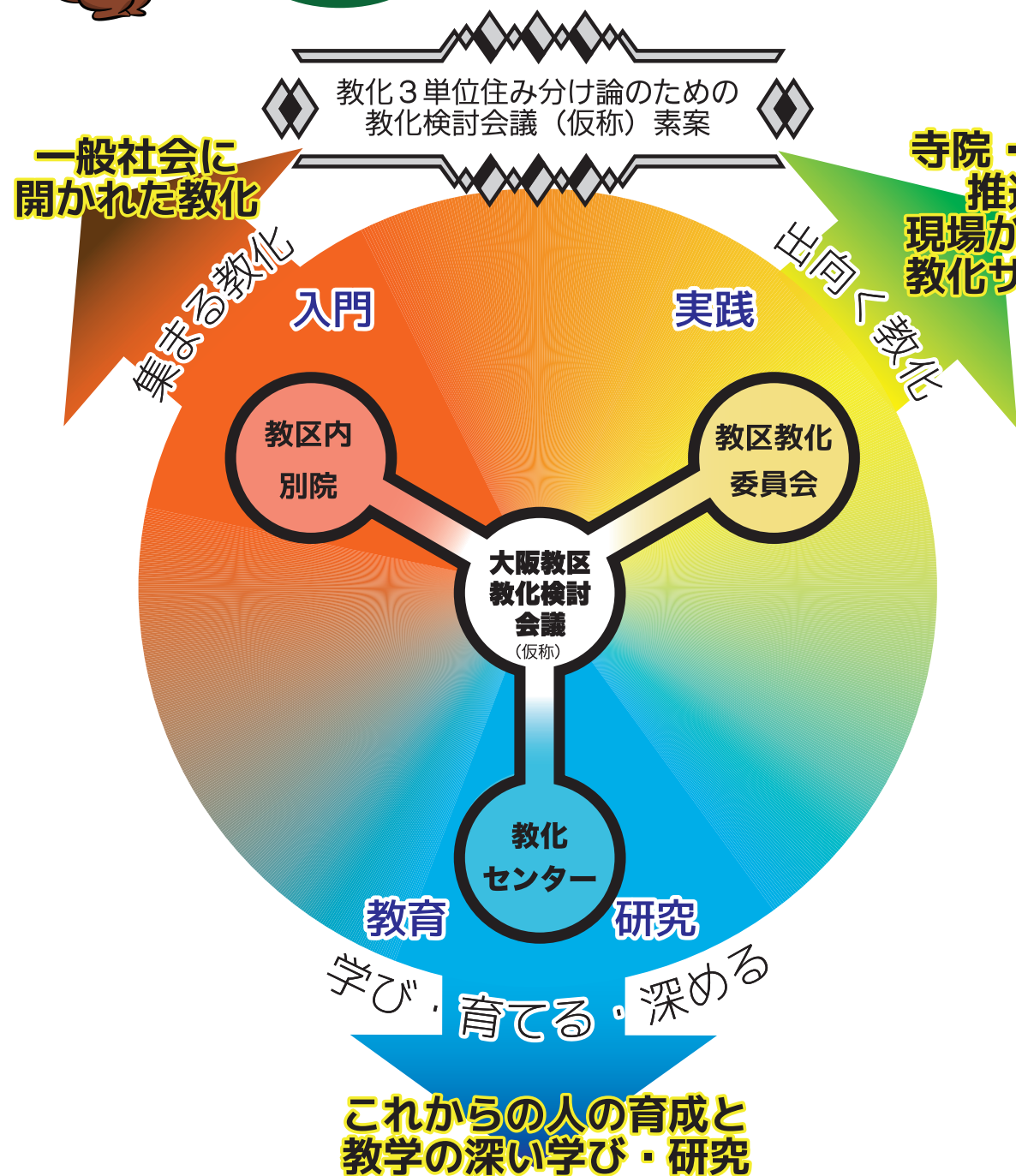




現場の声を
聞きます！

教区教化体制策定委員会が提案する新教化体制(案)

あたらしい
組織図案です
みてくださいね！



現場の声を聞きます！

一般社会に開かれた教化

集まる教化

入門

教区内別院

大阪教区教化検討会議 (仮称)

実践

教区教化委員会

出向く教化

寺院・門徒・推進員現場が主役の教化サポート

教育

教化センター

研究

これから人の育成と教学の深い学び・研究

育てる・深める

学び

ご存知のように、大阪教区には現在、教区教化委員会・教区教化センター・そして教区内別院の3つの大きな教化関係組織があります。(左上図)

まずもってこれからの新しい教化体制では、この3組織を結ぶ「大阪教区教化検討会議(仮称)」を設置します。このことにより3組織が常に連絡し合い、情報の共有を行うことができるようになります。たとえば、各組から寄せられた要望に応える際、どの組織が受け皿となるのがもっともふさわしいかなどを話し合い、互いに住み分けることで、これまで以上に緻密に現場の教化体制をお支えます。

これら3組織の住み分けのため、それぞれの役割についても検討いたしました。

まず、教区教化委員会は「出向く教化」と位置づけられます。これまで培った実績、すなわち講師の情報や、フィールドワークの情報は、各組・各寺院に出向いてお届けするのが一番だと考えたわけです。そして教区内各別院は、その立地を活かし、「集まる教化」と位置づけ、仏教にご縁のなかった一般の方にも教化の眼差しが広がることを願います。

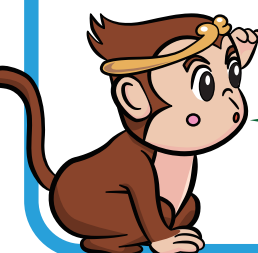
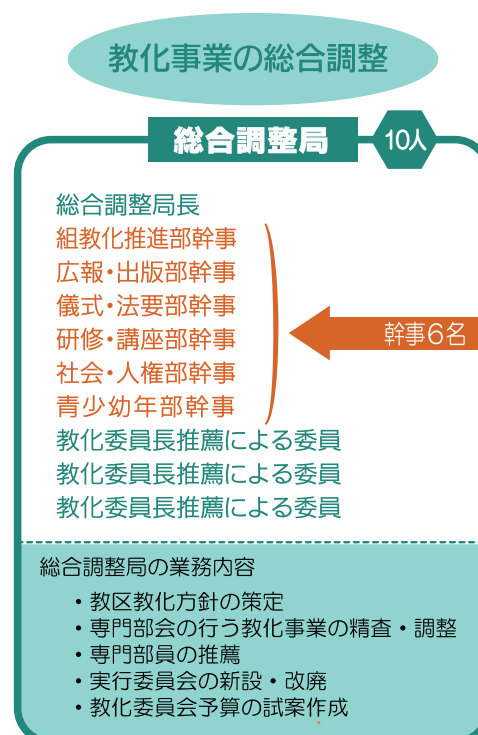
また教区教化センターは「学び・育てる・深める」として、「これからの人の育成と教学の深い学びと研究」を行うことを願います。

さて、「教区教化委員会」内には、「組教化推進部」と「広報・出版部」が新たに設置されます(右下図)。

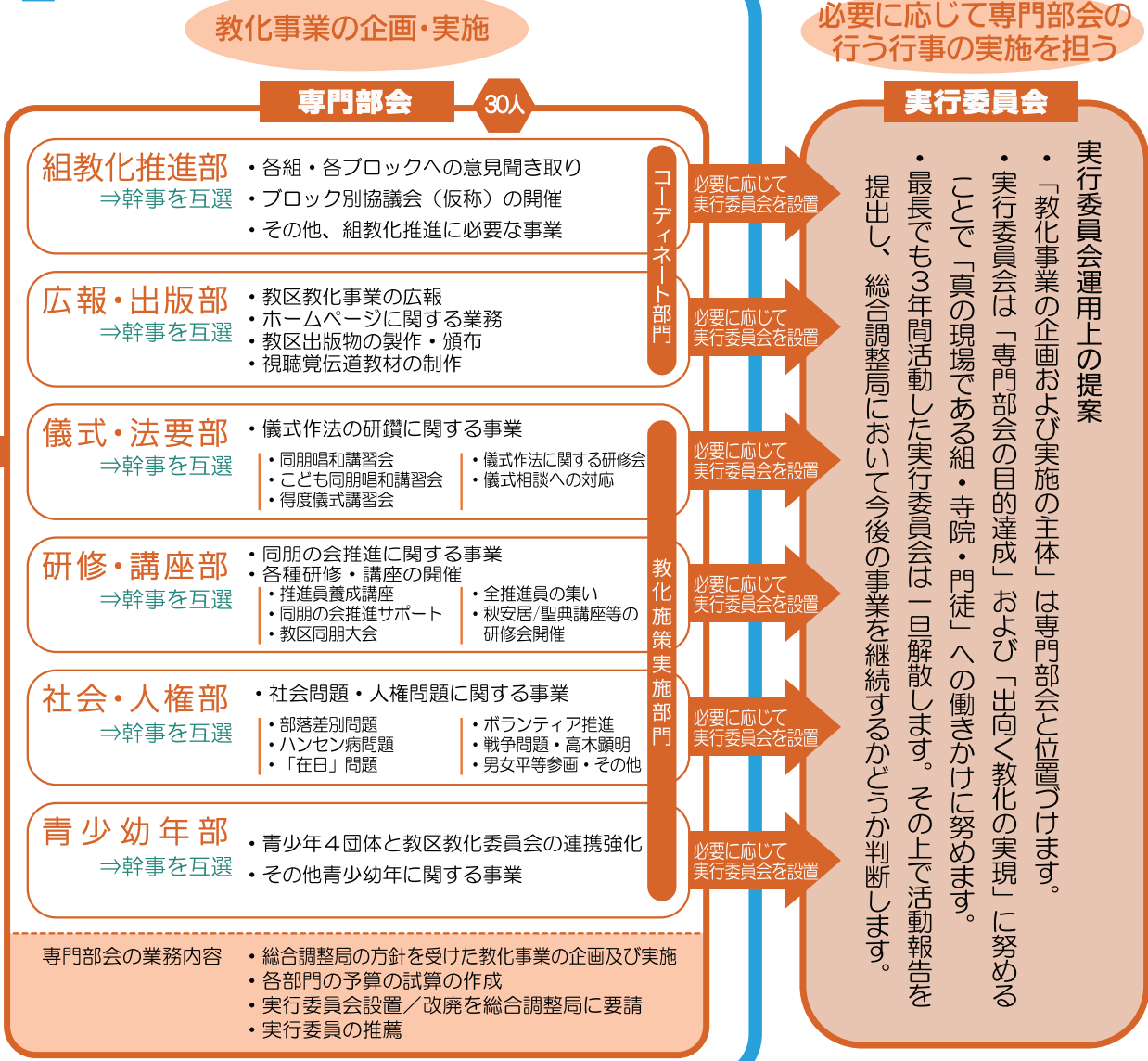
組教化推進部は各組・各寺院、とき

教区教化委員会

34人



新設はあるものの、
組織はスリムに
なったんだね



には各ブロックにおもむき、それぞれ現場で抱えておられる課題をお聞き取りし、教化委員会はもちろんのこと、教区教化検討会議にもその報告を行います。

また、広報・出版部では全寺院発送などお届けしていた膨大な教化情報を集約し、皆さまに伝わりやすくするための情報の整理と発信を行います。

実はこれらの改革は今の教化体制を大幅に変更するものではありません。といいつつも、これまで以上に皆さまのお近くへ「出向く・聞きとり・発信」し、それらを通して定期的に「自己点検」がなされ、「スリム化」を行えることが改善の目玉となっております。このことにより教区の教化体制が「真の現場」である寺院とご門徒をお手伝い出来る、そういう体制を教区の皆様方と作り上げようと思えます。